

# 解 答 速 報



## 藤田医科大学 一般選抜

### 第 1 問

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8
(1)	(2)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)	(1)

### 第 2 問

問 1	問 2	問 3	問 4
(2)・(5)	(1)・(4)	(2)・(6)	(4)・(2)

- 問 1 Asian countries are one step closer to coming to an agreement on cutting greenhouse gasses.  
 問 2 This club many of whose members take on new challenges is deemed promising.  
 問 3 Suffice it to say that the plan failed.  
 問 4 At no time should you give in to unreasonable demands.

### 第 3 問

問 1	問 2	問 3
(1)	(4)	(3)

### 第 4 問

問 1	問 2	問 3
(4)	(1)	(1)

### 第 5 問

問 1	人間は高度な発話能力を身に着けたことによって、他の種よりも優位なかたちで進化を遂げることができたという説。 [別解] 言語が人間をより高度な種にさせたという仮説。
問 2	突いたり引っ張ったりして障害物を除去することにより、カップの中に隠された種子やミミズを取ることができるという行動。(57 字)
問 3	(i) 音声学習を司る脳の領野は問題解決をする際に活性化する脳の領野とは異なるのに、なぜその 2 つの能力が強いつながりを持つのかということ。(65 字) (ii) 鳴鳥の脳を深くまで研究し、音声学習と問題解決を司るそれぞれ異なった脳の領野をどのような遺伝子や他の脳の領野が接続しているのかを理解すること。
問 4	【え】

## 第 6 問

(1)	<p>Indonesia is now the third largest producer of biofuels after Brazil and the U.S., and is the largest producer in terms of biodiesel, which can replace traditional diesel fuel.</p> <p>[別解] Currently, Indonesia is the world's third-largest biofuel producer after Brazil and the U.S. In biodiesel production, which serves as an alternative to conventional diesel fuel, Indonesia leads the world.</p> <p>[別解] Indonesia is now the third largest producer of biofuels after Brazil and the U.S., and is producing the greatest amount of biodiesel, which can be a substitute for commonly used diesel fuel.</p>
(2)	<p>As they grow [When growing up], biofuel crops absorb carbon released afterward into the atmosphere by the burning of fuels, so, in principle, compared with fossil fuels, biofuels should decrease (the amount of) emissions.</p> <p>[別解] When biofuel crops grow, they absorb carbon from the atmosphere that is later released through combustion, so in theory, they are supposed to reduce emissions compared to fossil fuels.</p>
(3)	<p>Replacing them with [by] biofuel crops will mean a decreased level of CO<sub>2</sub> absorbed, leading to the increase in greenhouse gasses, one of the main contributors to global warming.</p> <p>[別解] Replacing them with biofuel crops leads to less CO<sub>2</sub> being absorbed, which results in greenhouse gasses that in part contribute to global warming.</p> <p>[別解] Switching from them to biofuel crops ends up reducing CO<sub>2</sub> absorption and increasing greenhouse gasses, which is one of the driving [contributing] factors behind global warming.</p>

## 【講評】

- 第1問：例年、藤田医科大学の第1問では難問・奇問の類いの出題が1・2問あったが、昨年からそのような出題が減り、今年も取り組みやすい問題だった。基礎文法レベルの出題で易化傾向なので、しっかりと得点したい。
- 第2問：第2問でも悩ましい問題・受験生に発想できそうもないような問題の出題があるのが通例であり、今年は問3が厳しい出題と言える。Suffice it to say that ～という決まり文句を知らない受験生は多かっただろう。(suffice が3単現の形になっていないことから、It suffice が使えないことに気づきたい。)問2の This club many of whose members ～もややトリッキーなものだが、関係詞の知識を駆使して何とか正解に辿り着きたい。
- 第3問：「古代の人工物に残る DNA の非破壊的な抽出法」について述べた英文であった。新技術を用いた古代の DNA の抽出法について、しっかりと理解すれば、問2・3の内容一致問題は難なく消去法ができたと思われる。
- 第4問：「腸内細菌の回復に重要なカギを握る食事」についての英文であった。内容的にも柔らかく、最近よく出題されるテーマであるため、非常に理解しやすい英文であっただろう。第3問の内容一致問題と同じく、第4問の問2・3でも、根拠を持って消去法を行うことが容易であった。
- 第5問：「音声学習と知能との関係」について述べた英文であった。記述問題で字数制限が2問に設けられていたので、解答の際のヒントになったと言える。記述問題は基本的にどれも、該当箇所を発見しその部分を和訳し日本語を成形するアプローチでよかった。例年通り、本文の読解を正確に行い、問いの答えとなる該当箇所を把握できる能力が求められた。例年より少し記述量が減った印象であった。
- 第6問：「インドネシアのバイオ燃料生産」についての英文で、3ヶ所で英作文が要求された。(1)「～に次いで第3位」という表現を正確に書けるか、あるいは、(2)・(3)での「増加・減少」などの名詞化が適切にできるかで、英作文の質に違いが生まれるだろう。さらに、分詞構文や関係詞を用いて論理的に記述する必要があり、文法力が備わっていないと書きづらいと感じる問題だったと言える。

25年度の藤田未来入試(推薦入試)での出題数変更を踏襲し、第1問が6→8題、第3・4問が4→3題となり始めたが、その出題様式が踏襲されている。ボリュームに関しては、第3・4問は少しの長文化し、第5問は短くなった。難易度は第1問・第5問が易化、第6問がやや難化であった。合格には65～70%を目指したい。



メルマガ登録(無料)またはLINE公式アカウント友だち登録(無料)で全教科閲覧できます!  
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p><b>渋谷校</b></p> <p>☎ 0120-142-760</p> <p>東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p><b>名古屋校</b></p> <p>☎ 0120-148-959</p> <p>名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p><b>大阪校</b></p> <p>☎ 0120-142-767</p> <p>大阪府吹田市広芝町 4-3 4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 <b>麹町 FC 校</b></p> <p>TEL : 03-6272-4175</p> <p>東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>提携校 <b>医学部特訓塾</b></p> <p>TEL : 03-6279-9927</p> <p>東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>	